

# 令和5年度 江戸川区食品衛生監視指導計画（案）の概要

## 令和4年度：食品衛生に関するできごと

### ◎食中毒発生状況

#### 【江戸川区の食中毒発生状況】

2022年は、江戸川区内で6件（患者数：55名）の食中毒が発生しました。内訳は以下の通りです。

アニサキス : 4件（患者数：4名）

カンピロバクター：1件（患者数：2名）

ウエルシュ菌 : 1件（患者数：49名）

#### 【東京都内の食中毒発生状況】

東京都内では、2022年に102件（患者数：493名）の食中毒が発生しました。（速報値）

1位：アニサキス (60件、患者数：61名)

2位：カンピロバクター (19件、患者数：81名)

3位：ノロウイルス (6件、患者数：79名)

### ◎HACCP義務化から1年

食品衛生法が改正され、HACCPに沿った衛生管理が義務化されてから1年が経過しました。施設への立入り時にHACCPの実施状況について確認・指導を行い、定着の強化を図りました。

### ◎新型コロナウイルス感染拡大に伴う動き

飲食を伴うイベントも感染防止対策を取りながら徐々に再開してきています。6月には食品ロスをテーマに食品衛生大会を開催しました。

保健所の食品衛生講習会は、会場での受講とオンラインによる受講を選択できるようになりました。

## 令和5年度計画（案）

### ◎3つの重点事業

#### ① HACCP実施支援と定着の強化

- HACCP相談会の実施
- 個別に施設を訪問した際に助言指導

#### ② 食中毒予防対策

- アニサキスによる食中毒対策
- 食肉を原因とする食中毒対策（カンピロバクター等）
- ノロウイルス食中毒対策
- 各種イベントでの模擬店の監視

#### ③ オンライン化に向けた取り組みの推進

- 営業許可等の申請・届出手続きのオンライン化の推進
- 動画を活用したオンライン講習会の実施

### ◎一斉立入等による監視指導

食中毒の発生件数が増える夏期や、食品の流通量が多くなる歳末を中心に、年間事業計画に基づき、一斉立入等による監視指導を行います。

【年間事業計画数】 対象施設： 608 施設

微生物検査：130 検体・理化学検査：106 検体・簡易検査：193 検体

#### 【主な監視内容】

- ・給食施設、弁当店等立入検査
- ・適正な食品表示の指導
- ・残留農薬検査
- ・模擬店の監視指導
- ・食品添加物検査
- ・アレルギー物質検査
- ・ふぐ取扱い施設指導
- ・子ども食堂衛生指導